

ファンクション〈線修正 RELIMIT〉 操作説明

2020年6月版

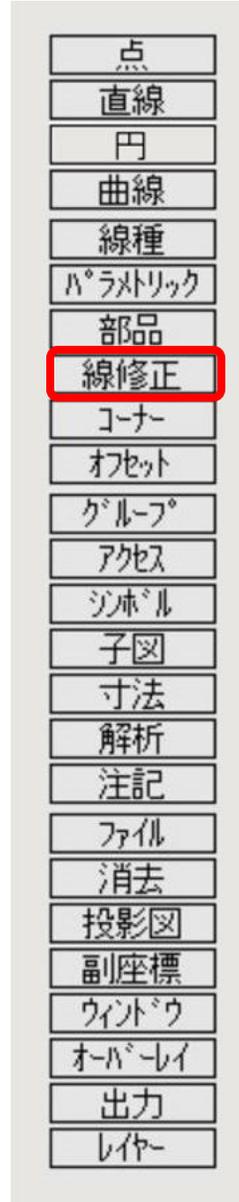
ファンクション<線修正 RELIMIT>とは

概略説明

ファンクション<線修正 RELIMIT>は、要素の線の長さを修正する機能です。要素を伸縮、分割、復元、または結合して、長さを修正します。また、既存の要素を下書き線として利用し、輪郭形状を作る応用機能も用意されています。

この項で学習すること

- ・要素の長さの修正
- ・ブロック形状の作成
- ・要素の分割
- ・要素の長さを無限長に復元
- ・2つの要素の結合

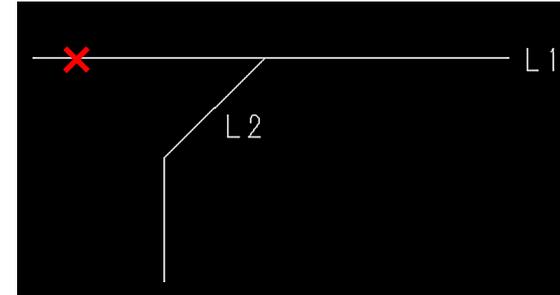


直線の長さを修正します

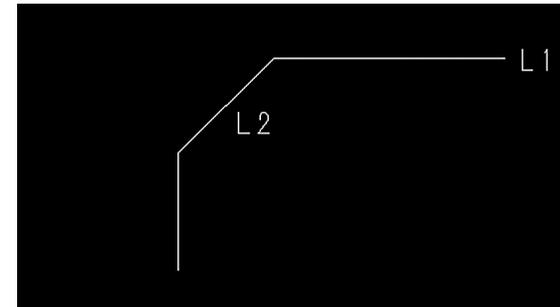
1. 図面「RELIMIT_BA20」を開く
2. <ウィンドウ>【1】 [図1]
3. <線修正>【修正】【単独】
4. L1の左側端点付近をSEL
5. L2をSEL

L1の長さが、L2まで修正されます。[図2]
操作直後にY/Nを押すことで、長さ修正した部分を反転することができます。[図3]

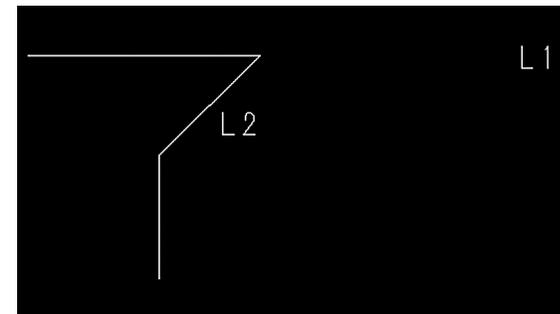
[図1]



[図2]



[図3]



直線の長さを連続して修正

複数の直線の長さを連続して修正します

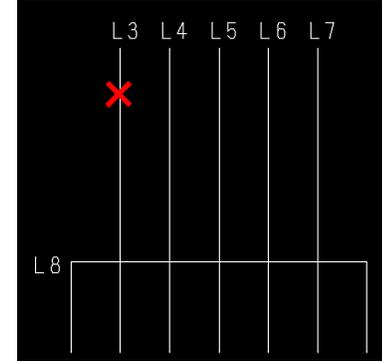
1. <ウィンドウ> 【2】 [図4]
2. <線修正> 【修正】 【単独】
3. L3の上側をSEL
4. L8（水平線）をSEL

L3（上側）の長さがL8まで修正されます。[図5]

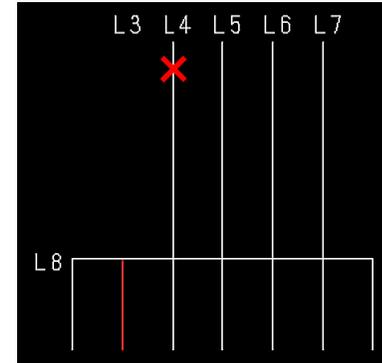
5. 【連続】
6. L4の上側をSEL

L4（上側）の長さがL8まで修正されます。[図6]

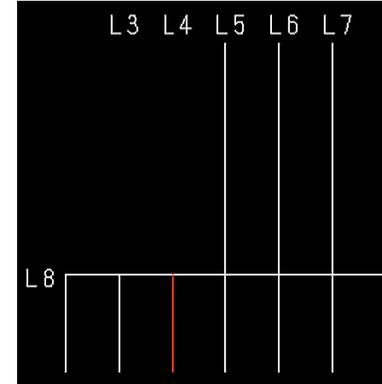
[図4]



[図5]



[図6]



直線の長さを連続して修正

7. L5の上側をSEL [図7]

L5（上側）の長さがL8まで修正されます。[図8]

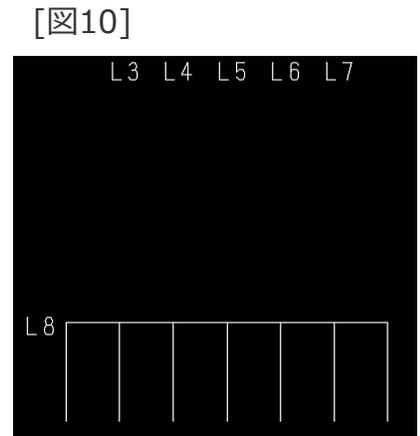
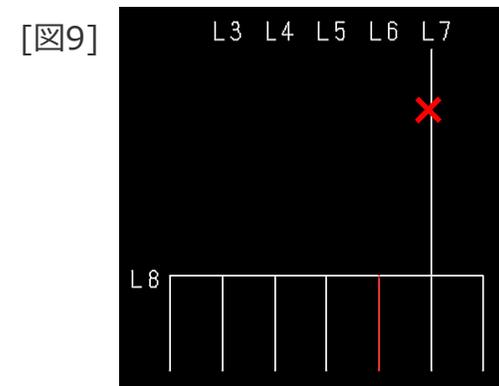
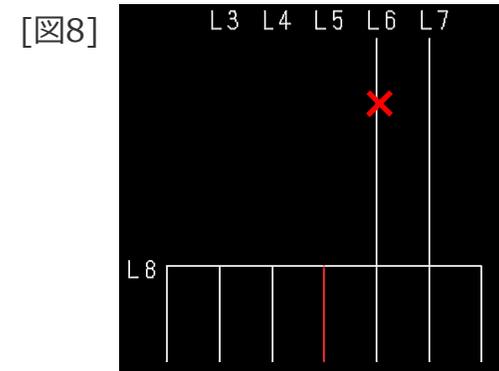
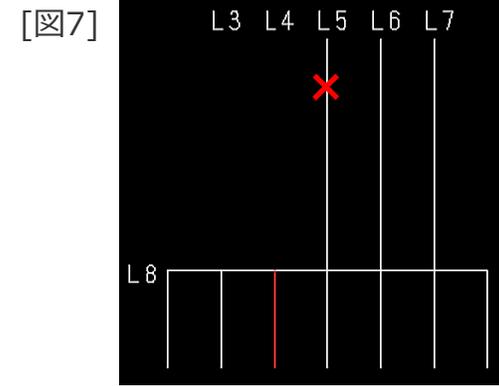
8. L6の上側をSEL

L6（上側）の長さがL8まで修正されます。[図9]

9. L7の上側をSEL

10. 【修正】

L3（上側）の長さがL8まで修正されます。[図10]



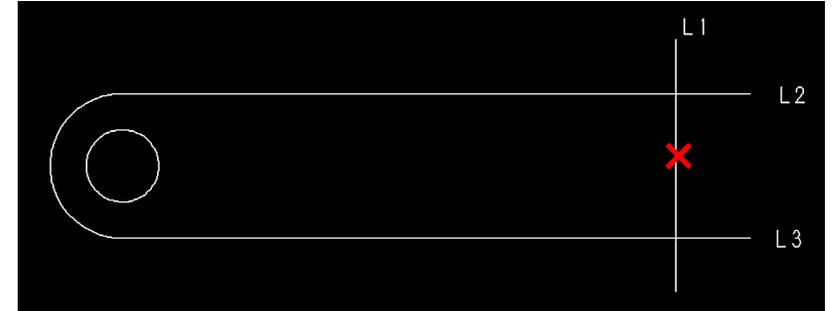
直線の両端の長さを修正

既存の直線の両端の長さを修正します

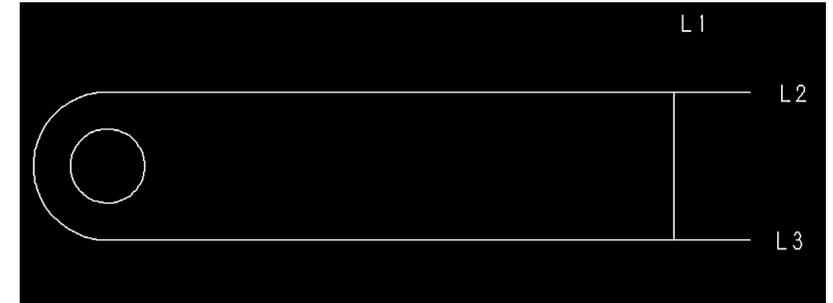
1. <ウィンドウ> 【3】 [図11]
2. <線修正> 【両端修正】 【単独】
3. L1の中央付近をSEL
4. L2をSEL
5. L3をSEL

L1の両端の長さが、L2とL3との交点まで修正されます。[図12]

[図11]



[図12]

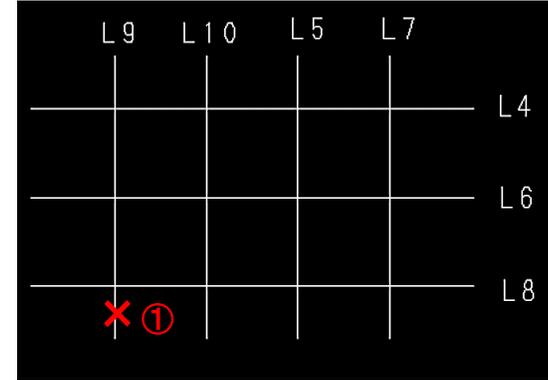


直線の長さを修正してブロック形状を作成

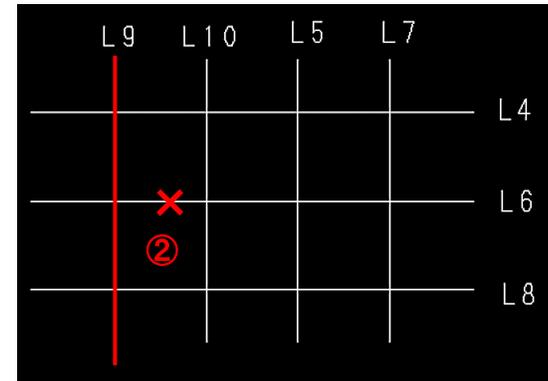
直線の長さを修正してブロック形状を作成します

1. <ウィンドウ> 【4】 [図13]
2. <線修正> 【ブロック】 【◎元消去】
3. L9の下側 (×①付近) をSEL
 以下、凸型形状になるようにSELする位置を注意してください。
4. L6 (×②付近) をSEL [図14]
5. L10 (×③付近) をSEL [図15]

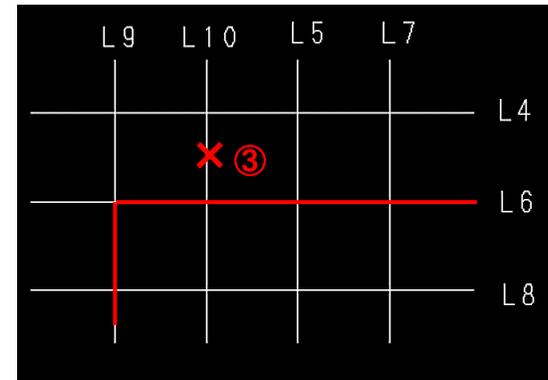
[図13]



[図14]



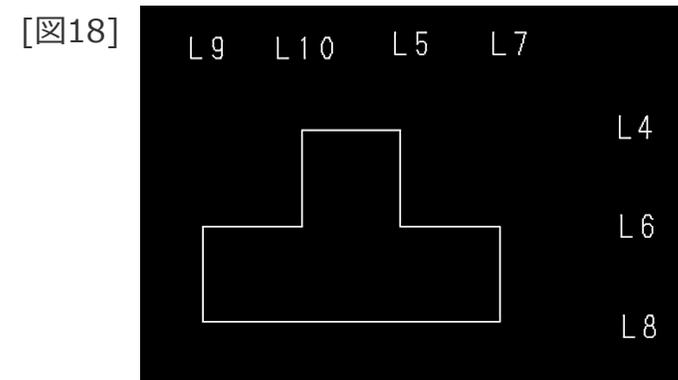
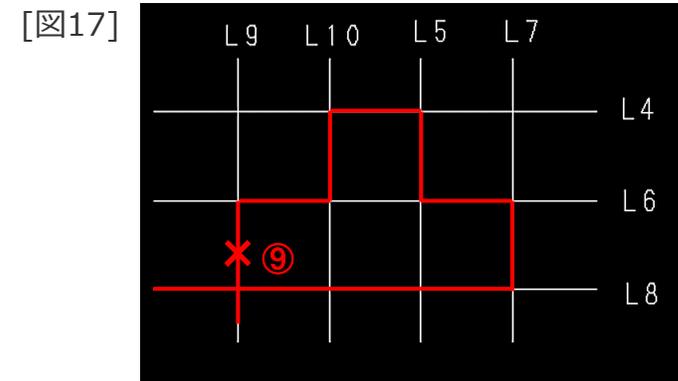
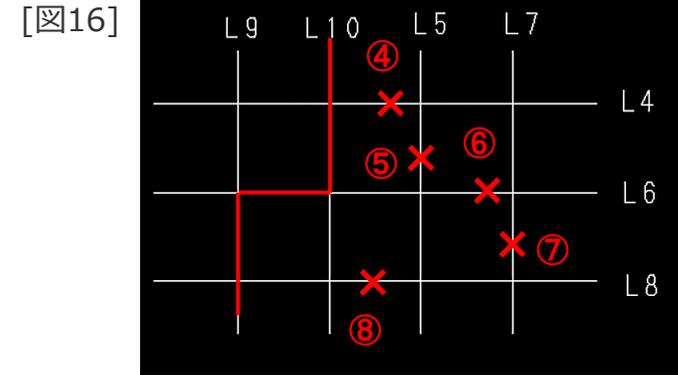
[図15]



直線の長さを修正してブロック形状を作成

6. L4 (×④付近) をSEL [図16]
7. L5 (×⑤付近) をSEL
8. L6 (×⑥付近) をSEL
9. L7 (×⑦付近) をSEL
10. L8 (×⑧付近) をSEL
11. L9の赤くハイライトしている部分 (×⑨付近) をSEL [図17]
12. 【修正】

直線の長さを修正してブロック形状が作成されます。[図18]

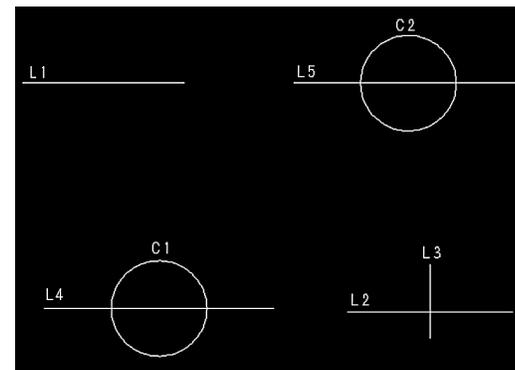


既存の要素を分割します

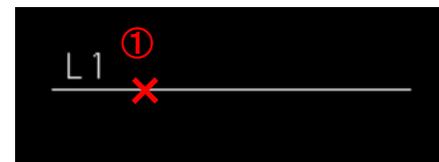
1. <ウィンドウ> 【5】 [図19]
2. <線修正> 【分割】 【単独】
3. L1の左側付近をSEL [図20]
4. L1の右側付近をSEL [図21]

L1がSELした位置で分割されます。[図22]

[図19]



[図20]



[図21]



[図22]



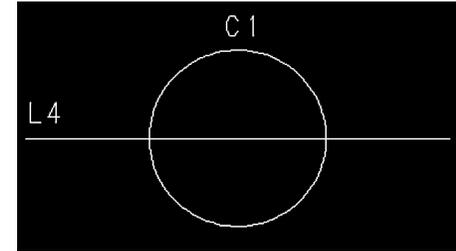
直線を分割して円の内側を消去 / 外側を消去

既存の要素を円で分割して、円の内側を消去します

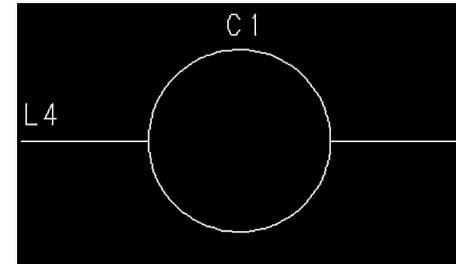
1. <線修正> 【分割】 【内側消去】
2. L4をSEL [図23]
3. C1をSEL

L4がC1で分割され、円の内側部分が消去されます。[図24]

[図23]



[図24]

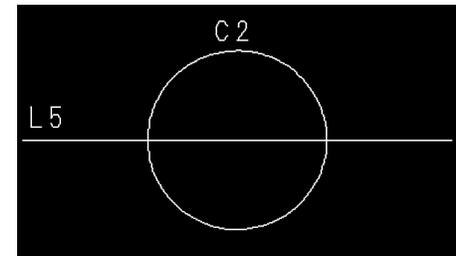


既存の要素を円で分割して、円の外側を消去します

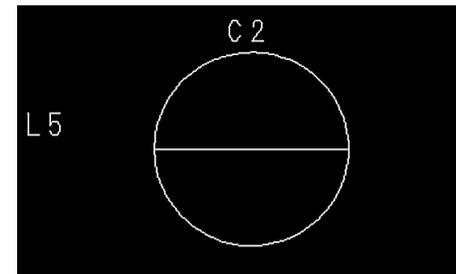
1. <線修正> 【分割】 【外側消去】
2. L5をSEL [図25]
3. C2をSEL

L5がC2で分割され、円の外側部分が消去されます。[図26]

[図25]



[図26]



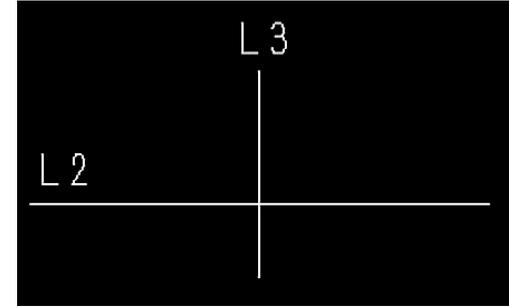
隙間を入れて直線を分割

隙間を入れて、既存の要素を分割します

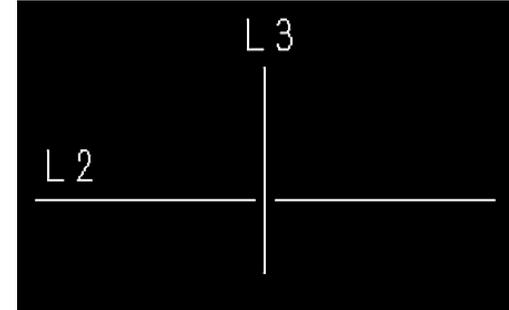
1. <線修正> 【分割】 【内側消去】
2. すきまの長さとして、“2”をキーイン
3. L2をSEL [図27]
4. L3をSEL

L2がL3で2mmのすきまを持って分割されます。[図28]

[図27]



[図28]



要素を（無限長に）復元

有限長の要素を（無限長に）復元します

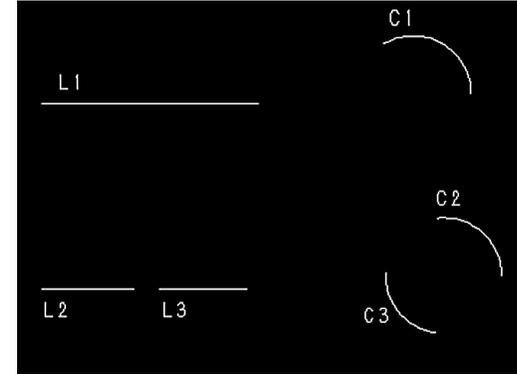
1. <ウィンドウ> 【6】 [図29]
2. <線修正> 【復元】 【単独】
3. L1をSEL [図30]

L1が無限長の直線に復元されます。[図31]

4. C1をSEL

C1が全円に復元されます。[図32]

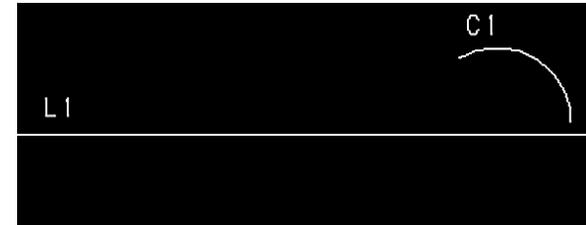
[図29]



[図30]



[図31]



[図32]



2本の線分を1本に結合 / 2つの円弧を1つに結合

2つの線分を1本に復元します

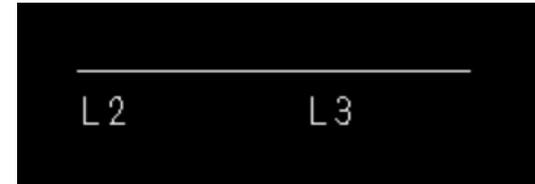
1. <線修正> 【復元】 【結合】
2. L2をSEL [図33]
3. L3をSEL

L2とL3が結合されて1本の直線になります。[図34]

[図33]



[図34]

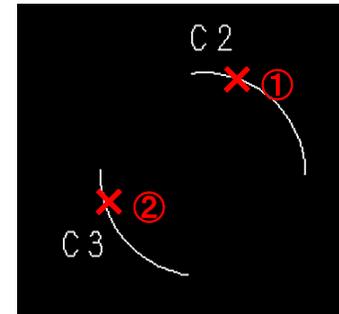


円弧と円弧を結合します

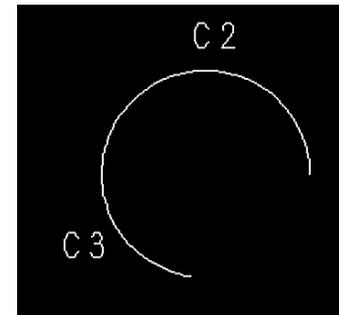
1. <線修正> 【復元】 【結合】
2. C2の上側 (×①付近) をSEL [図35]
3. C3の上側 (×②付近) をSEL

C2とC3の左上が結合されて1本の円弧になります。[図36]

[図35]



[図36]





※当資料内の文章・画像・商標等（以下、「データ」）に関する著作権とその他の権利は、弊社または原作者、その他の権利者のものです。企業等が非営利目的で使用する場合、個人的な使用を目的とする場合、その他著作権法により認められている場合を除き、データは弊社、原作者、その他の権利者の許諾なく使用することはできません。

※データ等のご利用またはご利用できなかったことによって生じた損害については、弊社は一切の責任を負わないものとし、いかなる損害も補償をいたしません。

※掲載されている内容は2020年6月時点のものです。内容は、事前の予告なしに変更することがあります。

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。